



～ひかり～



4月生活目標：みんな仲よくしよう

平成30年4月24日 文責：校長 宮崎

家庭訪問へのご協力ありがとうございました

4日間にわたる家庭訪問にご協力いただきありがとうございました。

入学・進学して間もないこの時期に、一人一人のお子さんについて、保護者の方の願いや思い、また学習面や生活面、家庭での様子、これまでの成長などについて聞かせていただきました。今後の学級経営、指導に活かしていくことはもちろんのこと、職員で共有して学校全体で中村小学校の児童一人ひとりの健やかな成長に向けて取り組んで参ります。

ご家庭でもどうぞお子さんの良い所は大きく褒め、危険な行為や問題行動等、叱るべき点ははつきりと叱っていただきたいと思います。何事も家庭での教育がベースとなります。

『早寝・早起き・朝ご飯』『あいさつと返事』『家庭学習の環境を整える』の3点をどうぞよろしくお願い致します。

家庭訪問



ありがとうございました。



全国学力・学習状況調査及び標準学力調査実施

4月17日（火）に全国学力・学習状況調査（6年生）と標準学力調査（2年～5年生）を実施いたしました。どの学年も一生懸命問題に取り組んでいました。

全国調査の方は、国語・算数共にA問題とB問題に分かれています。また同時に質問紙も実施しています。結果は7月中に個人票と共に6年生全体の状況も返却される予定です。

ご家庭では、家庭学習がきちんとできるよう、ご協力をお願い致します。

【教科に関する調査 国語・算数】

主として「知識」に関する問題（A）	主として「活用」に関する問題（B）
<ul style="list-style-type: none">身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等	<ul style="list-style-type: none">知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査】

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<p>学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 例：算数への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など</p>	<p>指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況等</p>

「新学習指導要領」に基づいた教育課程の編成と実施 H32年度から完全実施

全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育が受けられるように、文部科学省では、各学校で編成する教育課程の基準として「学習指導要領」を定めています。学校で使用する教科書もこの学習指導要領をもとに作られます。H29年3月には改訂された「新学習指導要領」が告示され、今年度から2年間の移行期間が設けられおり、H32年度からは新学習指導要領に基づいた教育課程が完全実施となります。PTA総会でも簡単に説明させていただきましたが、保護者・地域の皆様に、本校の取組をご理解いただくためにも、何回かに分けて「これから目指す教育課程、授業」について説明していきますのでよろしくお願いします。

1 学習指導要領改訂の背景

(1) 2020年～2030年頃までの間、子供たちの学びを支える急激な社会的変化

(情報化、グローバル化の加速度的進展、人工知能(AI)の飛躍的進化など)

→そのような予測困難な時代にあっても、未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に子供たちに育むことが必要。

(2) 社会に開かれた教育課程にすること

- ①よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有すること
- ②学校教育のよさをさらに進化させるため、学校教育を通じて子供たちが身に付けるべき資質・能力や学ぶべき内容などの全体像を分かりやすく見渡せる「学びの地図」として、学習指導要領を示し、幅広く共有することが必要。

2 基本的な考え方

未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成する。

知識の理解の質を高め、確かな学力を育成する。

豊かな心や健やかな体を育成する。

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

育成を目指す資質・能力の3つの柱です。

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るために
学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び



3 「主体的・対話的で深い学び」の実現



授業改善の視点

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

【深い学び】

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働きながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

中村小学校 教育課程拠点校事業 研究テーマ

資質・能力を育む国語科授業の創造－質の高い言語活動を通して－

本校の研究テーマも
新学習指導要領を踏
まえて設定し、研究
実践しています。

4 授業時数

授業時数は下の表のように増加します。学校行事等の見直しや時間割の編成を工夫しながら段階的に授業時数を増加していきます。本校では、今年度、金曜日を7校時にしてクラブ活動や委員会活動の時間に充てています。

〔現行〕

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	306	315	245	245	175	175
社会	—	—	70	90	100	105
算数	136	175	175	175	175	175
理科	—	—	90	105	105	105
生活	102	105	—	—	—	—
音楽	68	70	60	60	50	50
図工	68	70	60	60	50	50
家庭	—	—	—	—	60	55
体育	102	105	105	105	90	90
道徳	34	35	35	35	35	35
特活	34	35	35	35	35	35
総合	—	—	70	70	70	70
外国語活動	—	—	—	—	35	35
合計	850	910	945	980	980	980

〔改訂〕 平成32年度には、この授業時数で実施

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	306	315	245	245	175	175
社会	—	—	70	90	100	105
算数	136	175	175	175	175	175
理科	—	—	90	105	105	105
生活	102	105	—	—	—	—
音楽	68	70	60	60	50	50
図工	68	70	60	60	50	50
家庭	—	—	—	—	60	55
体育	102	105	105	105	105	90
特別の教科道徳	34	35	35	35	35	35
特活	34	35	35	35	35	35
総合	—	—	70	70	70	70
外国語活動	—	—	35	35	—	—
外国語	—	—	—	—	70	70
合計	850	910	980	1015	1015	1015



参観日・PTA総会 ありがとうございました



お子さんの頑張りを褒めてやり、また励ましてあげてください。

次に学級懇談後のPTA総会では、昨年度の事業・決算報告や今年度の事業活動計画案や予算案が提案されました。それぞれに承認されましたので、今年度もPTA活動への積極的な参加とご協力をよろしくお願ひ致します。また執行部役員改正も行われましたのでお伝えします。旧役員の皆様方には、中村小学校の子ども達のためにご尽力いただきましたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。また新執行部役員の皆様には、PTA活動活性化のため牽引役としてお世話になります。何かとご多用のこともある中、執行部役員をお引き受け下さりありがとうございます。どうぞよろしくお願ひ致します。(敬称略)

役職名	29年度	30年度
会長	津野 智宏	津野 智宏
副会長	北村 清土	北村 清土
副会長	長者 真人	長者 真人
副会長	山崎 あゆみ	山本 由紀
副会長	田上 大樹	田上 大樹
副会長	山崎 由佳	山崎 由佳
会計監査	西村 和匡	西村 和匡
会計監査	齋藤 慎一	山崎 あゆみ
事務局 (学校)	○久保田隆一 佐田 有里	○佐田 有里 久保田隆一
会計(学校)	宮崎 久代	宮崎 久代

「学校支援地域本部」設置

昨年度の学校便りや今年度のPTA総会の場でも資料を用意して説明させていただきましたが、今年度から、「学校支援地域本部」を設置します。これは、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域ぐるみで子どもたちの育ちを支援する仕組を整えるためのものです。今後、学校支援のためのボランティア登録を保護者や地域の方々にお願いの文書を出す予定ですので、どうぞよろしくお願ひ致します。

家庭は子どもが育つ基盤 「家族の温かい言葉を」

家庭は、子どもの豊かな心や人間性を育むうえで重要な役割を担っています。自分が大切にされているという実感は、「家族の温かい言葉」から生まれます。そこから、「自信」や「他の人ともよりよく生きていこう」とする前向きな姿勢も生まれてきます。一方で間違った行為に対しても、毅然とした態度で叱ることも必要です。大人が真剣に善悪の判断を示すことは、子どものよりよい成長を願う行為であり、子どもの人格を大切にすることにほかなりません。

ぜひ、ご家庭で、子どもと向き合い、夢や希望、悩みなどを語り合う時間をもっていただきたいと思います。その際に、これまでに各家庭に配付しております「高知の道徳」（高知県教育委員会発行）を開いていただきながら、お話ししていただくと、一層効果的だと思います。